

新社長に聞く

20日付で、代表取締役副社長から代表取締役社長に就任した。現在進めている中期経営計画「ACKG2013」の達成に向けて全力で取り組む方針を示す。今後の事業展開などについて聞いた。

※ ※

就任の抱負
現在、中期経営計画「ACKG2013」を進めており、この中で打ち出された「社会インフラ創造企業」自らが社会を創造する担い手となることを目指し、その達成に向けて全力で取り組む。グループを形成する5社を通じて、技術やサービスを統合化、あるいは複合化して社会のニーズに応

中計達成へ全体最適化

え、価値を提供する。併せて、組織や技術力を磨いていく。

また、基幹企業のオリエンタルコンサルタンツの社長との兼務となるが、兼務によって、両社を一度にみる事ができ、他の取締役もオリエンタルコンサルタンツと兼務していることから、意思決定もスピーディに行うことができる。

事業展開
社会インフラ創造企業に向けて、受託業務とともに、自らが資金を調達し、サービスを提供することで利益を確保する事業経営などを進める。そのためには、地域に受け入れられることが求められ、地域の雇用を生むな

ACKグループ 野崎 秀則 氏



社会インフラ創造企業目指す

様々な面で貢献しなげればならない。地域貢献では、例えば、公園の管理を通じて、教育・福祉、再生可能エネルギー、防災、商業・農業活性化、観光振興等の地域活性化事業を進めている。

重点化事業による事業拡大として、インフラ保全・運営管理、交通（高速度化・総合化）、再生可能エネルギー・スマートな個別事業と、地域活性化、海外新規開拓、間開発、事業経営の4つの統合事業を通じて、事業創造を進める。

更新や、防災の観点から、オリエンタルコンサルタンツが中心となるが、他のグループ企業も海外志向があり、グループ内で変化を先取りして、一歩進んだ提案を行うことに、柔軟な姿勢で積極的に展開する。グローバル人材も育てていく。

グループ内連係「ACKG2013」の達成に向けて、更なる全体最適化を図る。そのため、各企業がより一層強固になること、企業連携の一層強化に取り組む。それぞれの企業がオンリーワン、あるいはナンバーワンのものを持つ強い企業になり、高い価値を提供できるようにしたい。また、これにより強い企業となり各社が光ることによって、連携も深まっていくことになる。各社とも利益を確保し、頑張ってくれているが、もう一段高い意識を持ち、次のステップを踏み出す。

人材確保・育成
企業にとって、人は財産。各社が光れば、社員も元気になる、これが魅力となって外部に伝播して、人材確保にも繋がる。グループ全体で育てる仕組みもある。今後も人材を増やしていきたい。

【略歴】

82年3月立命館大学理工学部土木工学科卒業、同年4月オリエンタルコンサルタンツ入社。95年4月東京事業本部環境文化部景観・デザイン室長、99年11月中央設計技術研究所取締役、00年12月代表取締役社長、05年12月オリエンタルコンサルタンツ取締役執行役員関西支社長、07年10月取締役常務役員事業本部長、08年8月取締役常務役員SC事業本部長、09年10月取締役常務役員経営企画担当、12月代表取締役社長（現任）、ACKグループ取締役連携推進担当、11年10月ACKグループ取締役事業推進統括、12年10月取締役企画開発本部長、12月代表取締役副社長。趣味はジョギング。京都府出身、55歳。